

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人運営理念のもと『一人ひとりの思い、触れ合いを取り入れ、尊重した対応で安心できる毎日・家族のように支え合い、地域との交流を大切に笑顔・優しさ溢れる場所』を事業所理念とし、職員がいつでも確認できる場所に掲示、会議や研修でも理念について触れる等、職員一同で共有し、取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍という事もあり、以前におこなっていた地域行事の参加やボランティアの受け入れや近隣住民に開放した公開版音楽療法は再開できていないが、花や収穫物の頂き物がある等、地域の人たちに助けを求めている。外気浴の際などに挨拶をするなど心がけている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月に1度、現在の事業所や取り組み状況について報告し、質問等あればその場で返答している。また、参加者に意見や助言を頂き、それらを参考にして、サービス向上に活かしている。 今年も、新型コロナの影響で会議は書面での開催になっている為、郵送で意見・情報交換を行っている。			新型コロナウイルス感染症の感染法上の「位置づけ変更に伴う人員基準等に関する臨時的な取り扱いについて」において運営推進会議の臨時的な取り扱いは令和5年5月7日をもって終了する事となり対面形式での会議(オンライン可)を開催する事とされています。感染症が事業所内で蔓延する等、やむを得ない理由により困難な場合は延期・中止等の措置をとる事としております。事務所の運営状況に合わせて従来の方法での開催の検討をお願いします。
4	市町村との連携	市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月に1度行う運営推進会議に行政担当者、民生委員、自治会長、地域包括センター担当者にも出席して頂いている。事業所の実状等伝え、いざというときにも連携がとれるよう			

				に協力関係を築く努力をしている。市役所高齢介護課には、常に業務上の確認事項や相談事項を通じて情報提供し、アドバイスを受けている。但し今年も新型コロナの影響で運営推進会議は書面での開催になっている為、郵送で意見・情報交換を行っている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束に関するマニュアルを職員全員が確認できる場所に保管し、研修を実施している。身体拘束は、その人の尊厳を傷つける行為とスタッフ各自が認識を持ち、一人ひとりが身体拘束をしないケアを心掛け接している。玄関は日中施錠していない。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	所内研修で「身体拘束の排除取り組み」を研修されており身体拘束ケアに取り組まれていると感じます。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待に関するマニュアルを使い研修会を行い理解を深めている。言葉遣いなど虐待につながるケースが無いか職員間で気づいた事があれば報告し合うようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議で身体拘束や虐待等案件が1度もあがってきていないので、取り組まれていると感じます。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所内で行うプライバシー・倫理・法令遵守についての研修の中に権利擁護の内容を含めて学ぶ機会を持っている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設を見学して頂いた上で、管理者と利用者、家族と十分な話し合いの場を設け、理念を含めケアに対する考え方や取り組み、契約や解約に関する説明を行い、料金に対しても説明し同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の意見、要望を直接伺ったり、家族には面会時や電話等で伺い、改善点などを速やかに実行に移している。運営推進会議には家族にも参加してもらい、運営状況を伝え意見を聞いている。コロナ禍により、運営推進会議は書面でのやり取りと		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

				なり、家族に毎回、運営状況の報告書を送付し、それに対する意見・感想・質問・提案を返信で吸い上げている。それらを議事録としてまとめ、施設からの回答も記載し返信している。また、折々の状況は、ブログにて外部に発信している。定期的に家族の満足度調査をホームや本部で実施している。		
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月職員全体会議、各ユニットのスタッフ会議を行い、職員からの意見・提案を聞き、運営に反映させている。職員間で見ると見送りノートを活用し、職員からの小さな気づきを拾うようにしている。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	働きやすい環境・条件については職員の意見を基に話し合いを行い、また個別の努力や実績、勤務状況を把握し各自がそれぞれの能力を存分に発揮し、向上心を持って働ける環境作りに努めている。また、非常勤職員について、毎年就業条件の変更にも応じている。キャリアパスを制度化し全職員に周知、実施している。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	評価する事が難しい
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年間研修計画に沿い、多くの職員の参加を促し、理解を深める機会を設け、資格取得に向けて励んだり、ケア実践の中で職員同士が学び合う関係作りがある。指導者も現場に入り共に業務を行っている。また、新入職員には OJT 制度を導入し、初年度の育成計画も構築しながら人材育成に力を入れている。資格取得には法人として支援制度もある。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	評価する事が難しい

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の月次運営会議に参加し、法人内他グループホームの活動報告を聞き、運営の参考にしている。事業所の運営推進会議を通じ、地域包括支援センターの方へ助言を求めている。 八幡市の主催する介護予防・総合事業に関する地域協議体に参加し、他事業者との意見・情報交換も行っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	得意なこと、好んでいることなど役割を持って頂き、共に支え合える関係づくりに努めている。畑の作り方や調理の方法など入居者から職員が教わることも多い。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の協力のもと、友人との手紙・ハガキ、電話など連絡が取りあえるように支援している。 今年も新型コロナの影響により、面会は制限的な再開となっており、家族以外の方は原則不可としている。			状況にもよりますが、感染対策の上、面会等も少しずつ再開できると入居者様の楽しみにもつながると思います。面会に関する施設向け動画が厚労省のホームページに掲載されておりますので、ご参考頂けると幸いです
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いに耳を傾けるように努めている。 日々の生活での会話や行動などから、何を希望されているのか把握し対応、意向の聞き取りが困難な場合は家族から話を聞いて把握に努めている。また、本人の意向を尊重し、本人の意に添ったケアを心がけている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のスタッフ会議や個別のカンファレンスを通じて、ケアの内容の確認・最近の様子や課題点など話し合っている。家族にも状況を伝え、意見を聞き、介護計画に反映している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時系列に日々の様子やケアの実践・気づき、食事量、水分量、排泄など身体状況、エピソードなど個人記録に記入、記録は職員間で共有し、チームケアの実践、ケアプランの見直しに役立てている。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	評価する事が難しい
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活全般を支援し、本人・家族の状況に応じて、必要とするニーズに柔軟に応えられるように努めている。月間予定や一日の流れはあるものの状況に合わせて変更している。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍であるため、地域との交流や協働は実施することができていない			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族の同意を得て月2回訪問診療・訪問看護を利用、希望のかかりつけ医があれば、かかりつけ医に受診できるよう通院介助等の支援をしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時の情報提供、退院時の打ち合わせなど、入院先と連携を取りながら支援している。 また、利用者が入院された場合は入院状況の様子を確認するの兼ねて定期的に連絡を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況に応じ、その都度家族と話し、家族の意向を確認し、事業所でできること等含めた説明をしている。重度化・終末期に対して家族や介護していく側の職員の不安点も聞きながら、かかりつけ医・往診医・訪問看護等と相談し対応している。また書面においても家族・医師・ホームとの間で確認を行っている。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	評価する事が難しい

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルが全職員が共有できる場所に置いてある。研修やOJTで応急手当や初期対応の訓練をし、実践力を身につけるようにしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルを作成し、消防署の協力を得て、年2回避難・火災訓練を実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	評価する事が難しい
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員ひとり一人が人格を尊重し、プライバシーを損ねない声掛けや対応ができるよう日常の中で随時確認と改善をしている。また、昨年より接遇コンシェルジュ制度を取り入れ(各階2名)利用者に対する言葉掛け等で気になる事があった際は全体会議で報告、改善に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の生活リズムに配慮しながら起床・食事・入浴・就寝など支援している。本人の生活ペースに合わせて強制にならないよう声かけし、本人が意に添わない場合は別のアプローチや見守りにて対応している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、外食は中止になっているが、メニューを決める時に希望の献立や旬の素材を取り入れ、食に対するの楽しみを共有している。料理の下準備・後片付けなど出来ることは手伝って頂いている。お誕生会やおやつの際に、利用者の好きな料理や食べたいスイーツなどを提供し食べることを楽しんで頂いている。行事食にも力を入れている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	流しそうめんや桜餅など季節を感じる食事もされている。ご様子なので充分取り組まれていると感じました。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養に関しては、法人内の管理栄養士から定期的に評価、アドバイスを 得ている。メニューによって、栄養バ ランスを確認し、一日の水分量は別 途記録し、摂取量の確保に努めてい る。又飲み込み状態に合わせた食事 形態も都度対応している。体重測定 を毎月行い管理している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力 に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に歯科医師の診察と歯科衛 生士による口腔ケアを受けている。 食後の口腔ケアも実施し必要に応じ て職員が医師より教わり介助を行っ ている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を 活かして、トイレでの排泄や排泄の自立 にむけた支援、便秘の予防等、個々に 応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄表に記録し、個々の排泄パター ンを把握し排泄の自立に向けて、声 かけ・誘導を行っている。又排便コン トロールに関しては往診医師と相談 し対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせ て入浴を楽しめるように、職員の都合で 曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々 にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の希望や習慣に合わせ、入浴 回数を増やしたり、ゆったりと入浴を 楽しめるよう支援している。本人の拒 否がある際は、時間や日にちをずら すなどの工夫し入浴をおこなってい る。又可能な限り同性対応をしてい る。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状 況に応じて、休息したり、安心して気持ち よく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中の活動を促し、夜眠れる生活リ ズムを整える努力をしている。一人 一人の体調や体力、希望などを配慮 した休息が取れるよう支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副 作用、用法や用量について理解してお り、服薬の支援と症状の変化の確認に努 めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方箋ファイルを作成し薬の目的や 用量は都度確認している。服薬は準 備⇒確認⇒飲み残し・飲み忘れがな いか確認の工程を分担し、確実に服 用するのを見守りしてい る。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、制限はあるが出来る範囲での各利用者が得意とする分野を職員が把握し、貼り絵・ぬり絵・編み物・洗濯物たたみ・食器拭きなどそれぞれに合わせて活力ある生活が過ごせるよう支援している。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	コロナ禍の為、以前に実施していた、散歩、買物、遠足などの外出が困難であるがその分、施設内で出来るだけ季節や外の景色や雰囲気を楽しんでもらえるよう季節の掲示物や外気浴やドライブなどを実施している。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	小遣いを預かり金庫にて保管している。コロナ禍の為、外出が難しく買い物を希望された時は、現在職員のみでおこなっている。外出が可能になった際は、なるべく支払は本人にしてもらうように支援する。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	家族の協力を得て、希望時に本人が家族や親せきの方に電話をしたり、かけてきてもらったり出来る環境を整えている。また、友人に年賀状、暑中見舞いなど季節の便りや手紙のやり取りが出来るよう支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能に合わせて安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者と一緒に作成したものを飾り家庭的な雰囲気づくりを心掛けている。また季節に合ったものを飾りつけ季節感を出したり、花が好きな方が多いので、花を飾ったりしている。共用空間は常に清潔保持に心掛け、排泄物やゴミなど不快に感じる臭いには十分注意している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、年末年始やお盆の帰省や希望を聞き、それに合わせた外食などが現在困難であるが施設内で実施できる本人の意向をケアプランに取り入れ支援している。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々により化粧が日課の方には化粧道具を揃えたり、草花が好きな方には、畑やプランタの楽しみを支援したり、生活歴や趣味に合わせて対応している。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康については訪問診療医、訪問看護、訪問歯科にて、日々のケア・支援を受けている。また、これまで受けて来られた主治医の継続受診も続けられるよう支援している。環境面では、現在は特にコロナ禍において消毒や清掃、手洗い、換気等日々支援、対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共同生活の中に在っても、体調や年齢、嗜好に応じて、入浴の回数、就寝時間、食事時間、食事量、食事の嗜好等柔軟に対応、支援している。		
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各自、居室には仏壇を置く、好きなアルバム、人形、花瓶、写真や額等を飾っておられる。またお気に入りの衣服や帽子等身につけておられる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、以前のように外出は難しいが天気の良い日に敷地内での外気浴とドライブを実施している。年末年始、お盆の帰省、家族の冠婚葬祭等への参加・外出等は都度検討、施設内にて季節行事を開催し参加して頂いている。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアの中で、出来る事、出来ない事を把握し支援に取り入れている。調理・掃除面では、役割を分担、支援している。		
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が日々、利用者とコミュニケーションをとり、一人ひとりが言いたいこと、伝えたいことを、言葉や身振り手振りにて会話できるように支援・共有		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

				している。調理や掃除が好きな方には積極的に参加して頂いている。			
48		入居者は近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、現在は難しく以前に実施していた歌や踊り、マジックや民謡等、様々なボランティアグループの来訪や、自治会の月次催事への参加も中止している為、近隣や地域の人々との交流は難しくなっている。しかし、近隣の方からの収穫物を頂き食事などで提供している。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在制限された中ではあるが、家族との面会などコミュニケーションを取ることができている。季節行事等にも参加や、役割のある暮らしなどケアプランに基づいた個別ケアも行っている。又、健康面では適切な医療を受けることができ、日々楽しみ、親しみ、安心安全を考え落ち着いた生活を送る事が出来ている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染がV類になりましたが、感染症がなくなった訳ではないので、気を緩めない事が出来ない状況かと思えます。その中でも、ご入居様の外出等少しずつ緩和していくなど対応して下さり、また日々施設運営ありがとうございます。今後ともよろしく申し上げます。

目標達成計画

作成日: 令和6年3月7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1-(1)	コロナ禍である為、以前に行っていた地域行事の参加やボランティアの受入れ、外食、外出などが再開出来ていない。	コロナウイルス感染症も5類になり地域行事の参加やボランティアの受入れを行い以前の様な楽しみのある生活に戻していきたい。	地域行事への参加、以前お世話になっていたボランティアへの声掛け等積極的に行う。	12ヶ月
2	2-(2)				
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。